第 189 号　　2026 年 10 月 31 日

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会
〒110-0016　東京都台東区台東１－１４－１１
ヒロエンジニアリング(株)内
TEL（０３）５８１２－４１１１
FAX（０３）３８３３－６６７４
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL　http://www.toukankyo.org

○ 第 49 回通常総会報告
- 第 49 回通常総会議事録
- 総会資料

○ 第 49 回通常総会後の懇親会報告

○ 2026 年度 新任者教育セミナー報告

○ 第 37 回 環境測定技術事例発表会報告

○ 大環協環境測定技術事例発表会　交流講演

○ 2026 年度 役員の役割分担について

○ 新役員紹介

○ 関係機関・団体の動き
- 首都圏環境計量協議会連絡会
- (一社)神奈川県環境計量協議会
- (一社)埼玉県環境計量協議会
- 千葉県環境計量協会
- (一社)日本環境測定分析協会

○ 東環協からのお知らせ
- 2026 年度 主要行事予定
- 事務局からのお知らせ

第 49 回通常総会報告

2026 年 5 月 18 日(月)、第 49 回通常総会がアルカディア市ヶ谷 6 階「阿蘇（東)」で開催されました。来賓には、(一社) 日本環境測定分析協会 副会長 是澤 裕二様にご臨席賜りました。正会員 23 社の皆様にご出席いただき、20 社の委任状と合わせて成立の定数を満たしていることから、定刻の 17 時に近野副会長が総会の開会を宣言しました。

会則 22 条に則り、議長には平賀会長が選出され、木村副会長により昨年度の事業報告及び収支決算報告並びに今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、第 1 号議案から第 6 号議案まですべての議案が承認されました。

第 3 号議案では会員区分の変更が審議され、従来の正会員、賛助会員の区分を廃止し、すべての会員を正会員とすることが決議されました。また、第 6 号議案にて任期満了に伴う新理事の選任が審議され留任 9 名、新任 3 名の計 12 名の理事が選任されました。引続き会長副会長の選出が行われ、新会長には近野 良哉理事、副会長には村野 光男理事が選出されました。

東環協は今後 2 年新体制での運営を行ってまいります。会員企業の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

東環協　平賀会長の開会挨拶



平賀会長

只今、ご紹介に預かりました会長の平賀でございます。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙の中、多数の正会員の方をはじめ、賛助会員の方にもご出席頂き誠に有難うございます。また、来賓と致しまして(一社)日本環境測定分析協会副会長是澤 裕二様にご列席賜り誠に有難うございます。

昨年度は様々な取り組みを行ってまいりました。例えば島津製作所様の見学会などを実施しましたが、その中で人脈や技術的ノウハウを共有し、お互いに Win-Win の関係を築いていくことが重要だと考えております。そうした活動の中から新しいものが生まれていくことを願い、副会長とともに進めてまいりました。今後も継続していきたいと思います。本日は総会として、2025 年度事業報告・収支報告、また 2026 年度計画等についてご審議いただく場となりますので、よろしくお願いいたします。

東環協　近野新会長の就任挨拶



近野新会長

このたび会長という非常に重い役目を拝命し、これから頑張っていきたいと思います。平賀会長には４年間大変お疲れ様でした。

これまで東環協として様々な新しい取り組みに挑戦してまいりました。事例発表会における新テーマへの挑戦や、分析会社・分析室の見学なども実施してきました。また、これまで賛助会員と正会員に分かれていた体制を一体化し、調査分析会社とメーカーが一緒になって活動していけるようになりました。今後もさまざまなアイデアを出してまいりますので、皆様のお力添えをお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



≪総会の様子≫

２０２６　年　度

第　４　９　回

総　　会　　資　　料

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

議　　案

第 １ 号 議 案　　２０２５年度　事業報告承認の件

第 ２ 号 議 案　　２０２５年度　収支決算報告承認の件
（監査結果報告）

第 ３ 号 議 案　　諸規定等の一部改正の件

第 ４ 号 議 案　　２０２６年度　事業計画（案）審議の件

第 ５ 号 議 案　　２０２６年度　収支予算（案）審議の件

第 ６ 号 議 案　　新役員承認の件

はじめに

春暖の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より当協議会の事業活動につきまして、多大なご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省の公表資料によれば、日本国内の大手民間企業では 2 年連続で5%を超える賃上げがなされているという報道があります。環境計量業界では上昇する経費を価格に転嫁出来ず、依然として非常に厳しい状況におかれていますが、積算基準の根拠の一つとなる建設物価に記載されている分析単価が昨年末にやや持ち直したことは光明の一筋といえるかもしれません。当協議会としては会員各社が適正な価格で分析サービスを提供し続けていくことができるよう、さまざまな機会を捉えて関係機関に働きかけて参りたいと考えております。

本年 4 月より水道水質基準に PFOS 及び PFOA が追加されました。水質検査のみならず、これをきっかけとした新しいビジネスが生まれることを期待しています。

当協議会における昨年度の事業活動は、「キャリア形成」を主題とした参加・討論型の新任者教育セミナー、現地調査や総務部門など幅広いテーマを含む環境測定技術事例発表会、会員の分析施設の見学会の開催等、新たな試みによる活動・交流の活性化を重ねて参りました。このような企画運営において各担当役員の方々には多大なお骨折りを頂きましたが、大変実りの多いイベントを開催できたと自負しております。

また、1 月の技術研修会では東京都環境局環境改善部より「東京都の土壌汚染対策について」というテーマ、2 月の首都圏環協連研修会では東京都計量検定所より「計量法における実施体制」というテーマでのご講演を頂きました。

今年度も新たな模索を進め、会員どうしの対話を大切にしながら様々なアイデアを持ち寄り、「手作り感」のあるイベントを打ち出しながら、「共に歩く」をテーマに会員の皆様の交流及び若手技術者の育成に努めて参ります。

最後になりますが当協議会は来年、2027 年度においては、いよいよ創立 50 周年を迎えます。このイベントに向けても準備を進めて参りますので会員の皆様のご協力をどうかよろしくお願いいたします。

［第 1 号議案］　2025 年度　事業報告承認の件

２０２５年度　事業報告

2026 年 3 月 31 日現在の会員数及び役員は次のとおりです。

（会員数）

正 会 員　　59 社

賛助会員　　18 社

合　　計　　77 社

（役　員）

会長 1 名、副会長 2 名、理事 7 名、監事 2 名

１．会議の開催

（１）総　会

① 2025 年度(第 48 回)通常総会

第 48 回通常総会は、2025 年 5 月 8 日 17 時よりアルカディア市ヶ谷「鳳凰」にて、対面で開催しました。

開催日時：2025 年 5 月 8 日(木)　17:00～17:30

開催場所：アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

出 席 者：正会員 38 社(委任状 18 社を含む)

② 2025 年度臨時総会

臨時総会は､2026 年 1 月 14 日 15 時 30 分よりアルカディア市ヶ谷｢大雪(西)｣にて、2026 年度よりの会費値上げを議案とし開催しました。

開催日時：2026 年 1 月 14 日(水)　15:30～15:45

開催場所：アルカディア市ヶ谷「大雪(西)」

出 席 者：正会員 36 社(委任状 15 社を含む)

（２）理事会

協議会運営のため、全役員による理事会(リモート参加を含む)を開催しました。

理事会：5 回開催

(2025 年 5 月 8 日、7 月 4 日、10 月 10 日、12 月 17 日、2026 年 2 月 20 日)

（３）委員会会議

技術委員会、業務委員会の各委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催しました。

２．事業活動

当協議会の目的を達成するため、セミナー、発表会、研修会などの各種事業を企画、開催しました。

（１）技術関係

① 新任者教育セミナー

新任者教育セミナーは、2025 年 6 月 12 日 13 時より両国ステーションロハスビルで対面にて開催しました。今年度も首都圏環協連合同で、(一社)日本環境測定分析協会との共同により開催することができました。

開催日時：2025 年 6 月 12 日(木)　13:00～17:15

開催場所：両国ステーションロハスビル 3F 会議室

参 加 者：69 名(うち、東環協：8 社 14 名)

講義　「知っておくべき知識（社外交流のすすめ、今後の環境問題、
会社の仕組み、労働安全衛生・化学物質管理など)」
講師：東京都環境計量協議会　副会長　近野 良哉氏

パネルディスカッション

「環境測定・分析機関 技術・営業職としてのキャリア形成」

グループセッション

「この仕事をしていて、良かったこと、嬉しかったこと、
感謝されたこと」

「私のこれからのスキルアップとキャリア形成のプラン」

② 環境測定技術事例発表会

環境測定技術事例発表会は、2025 年 8 月 29 日 12 時 50 分より、アルカディア市ヶ谷「阿蘇」にて対面で開催し、総勢 63 名と多くの方にご参加いただきました。来賓には、東京都環境局環境改善部、（一社)日本環境測定分析協会、大阪環境測定分析事業者協会より 3 名の皆様にご臨席をいただきました。

開催日時：2025 年 8 月 29 日(水)　12:50～17:00

開催場所：アルカディア市ヶ谷「大雪」

参 加 者：63 名(発表者 7 名、会員 20 社 40 名、協賛企業 6 社 10 名、
一般参加 3 名、来賓 3 名）

事例発表 1　「高分解能精密質量分析計を用いたノンターゲット PFAS
分析事例の紹介」

発表者：一般財団法人東海技術センター 原田 祥行

事例発表 2　「PFAS 分析における超純水のブランク検証」

発表者：メルク株式会社 八木 馨太

事例発表 3　「一般廃棄物最終処分場の廃止に係る事前調査の事例」

発表者：一般財団法人広島県環境保健協会 東京営業所
〇野田 憲弘、田中 日出夫

事例発表 4　<大環協・交流発表>

「ガラスビート法を用いた XRF による地質試料の
化学組成分析事例」

発表者：三菱マテリアルテクノ株式会社大阪化学分析センター
〇平尾 宣暁、松永 絹子、平井 恭三

事例発表 5　「推定法（クリエイトシンプル法）による
リスクアセスメントの実施と分析業務への効果」
発表者：株式会社環境管理センター 技術センター
〇齋藤 映里依、川勝 美優、福本 由美

事例発表 6　「ユーロフィン日本環境における総務チームのご紹介
～アルコールチェックの取組みと社内イベントについて～」
発表者：ユーロフィン日本環境株式会社 坂谷 友之

事例発表 7　「エコプロ出展で環境を「はかる」魅力を発信」
発表者：株式会社環境管理センター 筒井 眞

③ 技術研修会

2025 年度 技術研修会は 2026 年 1 月 14 日 15 時より、アルカディア市ヶ谷「霧島(東)」にて対面で開催し、総勢 52 名と多くの方にご参加いただきました。来賓には、東京都環境局環境改善部、東京都計量検定所、(一社)日本環境測定分析協会から 4 名の皆様にご臨席を賜りました。

開催日時：2026 年 1 月 14 日(水)　15:00～17:00

開催場所：アルカディア市ヶ谷「大雪(西)」

参 加 者：49 名(参加者 25 社 39 名、協賛企業 3 社 5 名、日環協 1 名、
講師 1 名、来賓 3 名)

講演 1「東京都の土壌汚染対策について」

講師：東京都環境局環境改善部
土壌地下水対策担当課長　矢野 明子様

④ 技術交流

2025 年 9 月 10 日に大阪環境測定分析事業者協会(大環協)が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し東環協からも交流講演を行い、技術交流を深めてまいりました。

⑤ 大環協主催による精度管理共同実験

精度向上を目的に、「精度管理共同実験」（主催:大環協)への参加を当協議会会員にも呼び掛けました。東環協からのは会員 3 社が参加いたしました。

（２）業務関係

① 会員名簿

2025 年 9 月に会員名簿を発行、会員及び都内自治体に配布しました。

② 新春賀詞交歓会

2026 年 新春賀詞交歓会は 2026 年 1 月 14 日 17 時より、アルカディア市ヶ谷「鳳凰」にて総勢者 59 名の方にご参加いただき盛大に開催されました。来賓には、東京都環境局環境改善部、東京都計量検定所、より 4 名の皆様にご臨席いただきました。

開催日時：2026 年 1 月 14 日(水)17:00～

開催場所：アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

参 加 者：59 名(会員 24 社 45 名、協賛企業 5 社 9 名、日環協 1 名、
来賓 4 名）

③ 首都圏環協連関連

各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換を行いました。

1）首都圏環協連委員会：3 回開催
（2025 年 6 月 12 日、8 月 5 日、12 月 9 日）

2）2025 年度 環境計量証明事業団体合同研修会

開催日時：2026 年 2 月 13 日（金） 14:00～17：00

開催場所：ＴＫＰ東京駅カンファレンスセンター
カンファレンスルーム２Ａ

参 加：10 県単［首都圏環協連（1 都 3 県）、北海道、福島県、愛知県、
大阪府、広島県、福岡県）］
行政 ［埼玉県計量検定所、東京都計量検定所、
神奈川県計量検定所］

講演　「計量法における実施体制」

講師：東京都生活文化スポーツ局 東京都計量検定所

所長　戸澤　亙様

参加各県単の代表者によるフリートーク

④ 災害防止協定相互支援協定締結団体による意見交換会

2025 年 6 月 20 日に大阪府において災害防止協定相互支援に関する情報交換会が開催され、役員 3 名が参加し意見交換を行いました。

⑤ 親睦ゴルフ大会

首都圏環協連の合同親睦ゴルフ大会が 2025 年 10 月 31 日(金)に千葉県市原市にある南総カントリークラブにおいて開催されました。

東環協からも４社 5 名参加いたしました。

⑥ 島津製作所研究所見学会

当協会賛助会員の株式会社島津製作所様の協力のもと、「Shimadzu Tokyo Innovation Plaza (STIP)」のラボツアー及び講演が開催されました。

開催日時：2025 年 12 月 10 日(水)　14:00～19:00

開催会場：Shimadzu Tokyo Innovation Plaza　4F　メインホール

参加者：15 社　25 名

（３）広報関係

① 東環協ニュース

東環協ニュースを 2 回発行しました。

第 187 号：2025 年 10 月 31 日

第 188 号：2026 年 3 月 31 日

② ホームページ

東環協ホームページでは、各種行事のご案内や東環協ニュースなどを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月 1 回の更新を実施しました。

③ 都民計量のひろば（東京都計量検定所関連）

東京都では、11 月 1 日の計量記念日に都民の方々に楽しみながら計量への関心を高めていただくために「都民計量のひろば」を開催しています。

2025 年度は近代計量制度 150 周年を記念して東京都計量検定所で開催され、多くの方にご来場いただきました。

テ ー マ：メインテーマ「くらしと計量」
サブテーマ「計量150周年！みんなで計量を見てみよう！」

開催日程：2025 年 11 月 1 日(土)　9:30～16:00

開催場所：東京都計量検定所

主　　催：都民計量のひろば実行委員会［構成団体　東京都計量検定所、(一社)東京都計量協会、東京都環境計量協議会、他計 18 団体］

④ 東環協メール情報サービス

電子メールによる情報提供を 15 件（№385～№399）実施しました。

（４）官公庁その他に対する協力

① 「災害時アスベストばく露・飛散防止研修会」の実施

東京都環境計量協議会は、2020 年 9 月 10 日付で東京都と「災害時における石綿モニタリング調査に関する協定」を締結しています。

今回は東京都環境局の主催により「令和 7 年度　災害時アスベストばく露・飛散防止研修」が開催され、当協議会からは 10 社 27 名がオンライン参加いたしました。

開催日時：2025 年 10 月 15 日(水)　10:00～14:10

開催場所：都庁第一本庁舎 5 階　大会議室

開催方法：自治体担当者の会場参加及び
関連団体のオンライン参加(Zoom ウェビナー)の併用

講演 1「災害時における飛散防止マニュアル及び
災害時のアスベスト対策に係る協定について」

講師：東京都環境局

講演 2「アスベストの露出状況調査について」

講師：(一社)建築物石綿含有建材調査者協会

副代表幹事　外山 尚紀氏

講演 3「環境モニタリングについて」

講師：東京都環境計量協議会会員企業

株式会社環境管理センターソリューション事業部　塩野 拓海氏

講演 4「東日本大地震発生時における福島県の初動対応の経験」

講師：(一社)福島県環境測定・放射能計測協会

片寄 久巳氏

以　上

監　査　報　告　書

東京都環境計量協議会
会　長　　平賀　積善　殿

私たちは、２０２５年４月１日から２０２６年３月３１日までの事業年度における会計書類及び事業活動報告について詳細に監査した結果、適正であることを認めます。

２０２６年４月７日

東京都環境計量協議会

監事：石山道樹

監事：小郷伸彦

［第２号議案］　　2025年度　収支決算報告承認の件

本議案については、当協議会のネット規程上、非公開とします。

本議案については、当協議会のネット規程上、非公開とします。

［第３号議案］ 諸規定等の一部改正の件

諸規定等の一部改正の件

「第２３条（３）会則の変更」に基づき、次の通り諸規定等を改正する

その１　東京都環境計量協議会会則

１．改正の趣旨

その１　東京都環境計量協議会会則の一部改正の件

賛助会員種別を変更し、正会員と同等の権利を付与し、会員種別を統一し「会員」とする。すべての「会員」には総会時の議決権を与える。

２．改正の概要

その１　東京都環境計量協議会会則
（１）種類（第２章会員の第４条）を変更
・「（１）正会員」を会員に変更する
・「（２）賛助会員」を削除する
（２）総会の成立（第４章会議の第１９条）を変更
・「正会員」を「会員」に変更する
（３）議決権（第４章会議の第２０条）を変更
・議決権は会員が有す
（４）議事の成立（第４章会議の第２１条）変更
・「正会員」を「会員」に変更する

以　上

［第３号議案］その１

東京都環境計量協議会会則

新旧対照表

改正（案）	現　行
（種類） 第４条　本会の会員は、次の通りとする。 ・会員 ・東京都に登録した環境計量証明事業者 ・他道府県に登録した環境計量証明事業者で東京都に本社、支社、営業所などの業務拠点を有する事業者。 ・環境計量証明事業に関連するすべての事業者及び団体 （総会の成立） 第１９条　総会は会員の過半数の出席（委任状含む）により成立する。	（種類） 第４条　本会の会員は、次の通りとする。 （１）正会員 ・東京都に登録した環境計量証明事業者 ・他道府県に登録した環境計量証明事業者で東京都に本社、支社、営業所などの業務拠点を有する事業者。 （２）賛助会員 ・環境計量証明事業に関連するすべての事業者及び団体 （総会の成立） 第１９条　総会は正会員の過半数の出席（委任状含む）により成立する。

（議決権） 第２０条　議決権は会員が有し、総会に出席し意見を述べることが出来る。	（議決権） 第２０条　議決権は正会員のみ有し、賛助会員は有しない。但し、賛助会員は総会に出席し、意見を述べることが出来る。
（議事の成立） 第２１条　総会の議事は会員の過半数で決する。但し可否同数のときは議長の決議するところによる。	（議事の成立） 第２１条　総会の議事は正会員の過半数で決する。但し可否同数のときは議長の決議するところによる。

［第４号議案］　2026年度　事業計画（案）審議の件

２０２６年度　事業計画（案）

１．会議の開催

（１）総　会

2026 年 5 月 18 日（月)、アルカディア市ヶ谷　6 階『阿蘇（東)』にて開催します。

（２）理事会

事業活動に関する計画立案及び結果報告等のため、全役員による理事会を　年６回程度開催します。

（３）委員会会議

技術委員会、業務委員会の各委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催します。

２．事業活動

（１）技術関係

①　新任者教育セミナー	6 月 2 日（予定）
②　研修見学会	未定
③　環境測定技術事例発表会	9 月（予定）
④　技術研修会	2027 年 1 月（予定）
⑤　研修セミナー等 （関係団体、友好団体主催セミナー案内）	未定
⑥　技術交流 （大環協･環境測定技術事例発表会への参加）	9 月（予定）

⑦ 精度管理共同実験
（大環協･精度管理共同実験への参加呼び掛け） 11 月（予定）

（２）業務関係

① 会員名簿の発行	8 月（予定）
② 新春賀詞交歓会	2027 年 1 月（予定）
③ 首都圏その他の連絡会議への参加	随時参加
④ その他（各種親睦会等）	未定

（３）広報関係

① 東環協ニュースの発行	年 2 回（予定）
② ホームページの更新	原則、毎月 1 回
③ 都民計量のひろば行事	11 月 1 日（予定）
④ 各種資料の配付、メールサービス	随時実施

（４）官公庁その他に対する協力

① 東京都計量検定所が行う講習会等への協力

② 東京都環境局が行う講習会、災害防止対策事業等への協力

③ (一社)日本環境測定分析協会が行う行事等への協力

④ その他

以 上

［第５号議案］　2026年度　収支予算（案）審議の件

本議案については、当協議会のネット規程上、非公開とします。

［第６号議案］ 役員選任の件

役員改選（案）

現役員１２名は本総会終結の時をもって任期満了となりますので、新たに役員の承認をお願いいたします。

立補者は次のとおりです。

任期：２０２６年５月総会後～２０２８年５月総会まで

	立候補者	会社名
1	石山　直樹	シグマジオテック(株)
2	大杉　一喜	ユーロフィン日本環境（株）
3	木村　直樹	(一財)東海技術センター
4	近野　良哉	いであ(株)
5	小柳　伸彦	(株)環境技術研究所
6	笹嶋　　宏	(株)分析センター
7	関島　章光	(株)環境管理センター
8	土田　政行	日本物理探鑛（株）
9	藤田　康男	(株)総合環境分析
10	野田　憲弘	(一財)広島県環境保健協会
11	松井　　円	日本環境分析センター（株）
12	村野　光男	環境リサーチ(株)

※ 50音順

東環協選挙管理委員会

［第６号議案］役員選任の件（関連資料）

新役員体制(案)について

承認後の役員体制は、次のとおり予定しています。

任期：２０２６年５月総会後～２０２８年５月総会まで

	役　職	氏　名	会社名	備考
1	会　長	近野　良哉	いであ(株)	**新任**
2	副会長	村野　光男	環境リサーチ(株)	**新任**
3	理　事	木村　直樹	(一財)東海技術センター	留任
4	理　事	笹嶋　　宏	(株)分析センター	留任
5	理　事	大杉　一喜	ユーロフィン日本環境（株）	留任
6	理　事	藤田　康男	(株)総合環境分析	留任
7	理　事	野田　憲弘	(一財)広島県環境保健協会	留任
8	理　事	関島　章光	(株)環境管理センター	**新任**
9	理　事	松井　　円	日本環境分析センター（株）	**新任**
10	理　事	土田　政行	日本物理探鑛（株）	**新任**
11	監　事	小柳　伸彦	(株)環境技術研究所	留任
12	監　事	石山　直樹	シグマジオテック(株)	留任

＊ 敬称略

東環協選挙管理委員会

東京都環境計量協議会

２０２６年度（第４９回）通常総会

議　事　録

日　　時　：　２０２６年5月１８日（月）　１７：００～１７：２５

場　　所　：　アルカディア市ヶ谷（6階「阿蘇（東）」（東京都千代田区九段北４－２－２５）

出 席 者　：　４３　社（うち、総会当日までに到着分の委任状　２０　社）

近野副会長が１７時００分、正会員総数５９社中４３社の出席があり、会則第１９条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に平賀会長が挨拶を行った。

会則第２２条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、（株）環境総合リサーチ　奥富　康浩氏と（株）日本シーシーエル　川内　義則氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議　　事

１．第１号議案「２０２５年度事業報告承認の件」及び第２号議案「２０２５年度収支決算報告承認の件」について

木村副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した。引き続き、石山監事が２０２５年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第１号議案及び第２号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

２．第３号議案「諸規定等の一部改正の件」について

木村副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した後、第３号議案について審議した結果、異議なく承認された。

３．第４号議案「２０２６年度事業計画（案）審議の件」及び第５号議案「２０２６年度収支予算（案）審議の件」について

木村副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した後、第４号議案及び第５号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

４．第６号議案「新役員承認の件」について

本年度は役員改選の年であり、木村副会長より立候補者名簿に関する説明があった。その後、第６号議案について審議した結果、異議無く承認された。

以上で第４９回通常総会の議事が終了し、１７時２５分、近野副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議　　長　平賀積善　印

議事録署名人　川内義則　印

議事録署名人　奥富康浩　印

東京都環境計量協議会 第４９回通常総会 出席者名簿

２０２６年5月１８日　　１７時００分より
於　アルカディア市ヶ谷　６階「阿蘇（東)」

来賓　（一社）日本環境測定分析協会　　副　会　長　　是澤　裕二　　様

No.		会　　社　　名	出　　席　　者　　名	備考
1	1	いであ(株)		
2	2	(株)エオネックス		
3	4	(株)環境管理センター		
4	5	(株)環境技術研究所		
5	7	(株)環境総合リサーチ		
6	8	環境リサーチ(株)		
7	9	シグマジオテック(株)		
8	10	新日本環境調査(株)		
9	11	(株)総合環境分析 東京技術センター		
10	12	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
11	13	帝人エコ・サイエンス(株)		
12	14	(一財)東海技術センター		
13	15	(株)日新環境調査センター		
14	17	日本エコテック(株)		
15	18	日本環境分析センター(株)		
16	19	(株)日本シーシーエル		
17	20	(株)日本総合科学		
18	21	日本物理探鑛(株)		
19	22	ヒロエンジニアリング(株)		
20	24	(一財)広島県環境保健協会		
21	25	(株)分析センター		
22	26	ムラタ計測器サービス(株)		
23	28	ユーロフィン日本環境(株)		
1	3	(株)片山化学工業研究所		賛助
2	4	日本コントロールシステム(株)		賛助
3	7	ビーエルテック(株)		賛助

※総会開始時点における出席者

来　賓　　1名
正会員　　23社　28名
賛助会員　　3社　7名
計　26社　36名

委任状（総会当日までに到着した分）
・(株)オオスミ　・(株)環境技研（板橋）　・(株)環境技研（杉並）　・(株)環境技術センター
・(株)KANSOテクノス　・(株)クレアテラ　・(一財)小林理学研究所
・(株)サンコー環境調査センター　・三葉化工(株)　・成友興業(株)　・中央建鉄(株)
・デイラボ　・東京都鍍金工業組合　・日本環境アメニティ(株)　・(株)日本分析
・(株)MIZUKEN　・(株)むさしの計測　・(株)ヤクルト本社中央研究所附属分析センター
・八千代エンジニヤリング(株)　・ユーロフィンアグロ分析コンサルタント(株)　　20社

第 49 回通常総会後の懇親会報告

総会終了後の 17 時 30 分から会場をアルカディア市ヶ谷 6 階「阿蘇（西）」に移して、恒例の懇親会が開催されました。会員企業　26 社(40 名)、来賓 3 名と多くの方々にご参加いただきました。今回は来賓として、東京都環境局 環境改善部長 中島　隆行 様、同 大気保全課長 名取 雄太 様、(一社)日本環境測定分析協会 副会長 是澤 裕二 様にご臨席いただきました。

初めに当協議会の近野会長より挨拶があり、その後、来賓を代表して東京都環境局環境改善部 中島部長からご挨拶を頂戴いたしました。続いて、(一社)日本環境測定分析協会 是澤副会長による乾杯のご発声で懇親会が始まりました。



近野会長による挨拶


中島部長による挨拶


是澤副会長による乾杯のご発声

【懇親会の様子】

乾杯の後、参加された皆様が各々お食事、お酒を召し上がりながら、盛んに情報交換・名刺交換が行われ、歓談は大いに盛り上がっていました。

懇親会も中盤に差し掛かったところで、新副会長の村野副会長、新理事の関島理事、松井理事、土田理事の紹介の後、退任される平賀前会長、竹田前理事、織間前理事より退任の挨拶をいただきました。

平賀前会長、竹田前理事、織間前理事、におかれましては今まで協会の運営に多大なご尽力いただきありがとうございました。



村野副会長



関島理事



松井理事



土田理事



平賀前会長



竹田前理事



織間前理事

ひとしきり紹介・挨拶も終わったところで再び歓談を楽しんでおりましたが、楽しい時間はあっという間に過ぎ、宴たけなわのなか笹嶋理事の中締で懇親会はお開きとなりました。



笹嶋理事による中締め

東京都環境計量協議会第４９回通常総会懇親会　出席者名簿

２０２６年5月１８日　　１７時３０分より
於　アルカディア市ヶ谷　６階「阿蘇（西）」

来賓　東京都環境局環境改善部　　部　　長　　中島　隆行　様
東京都環境局環境改善部大気保全課　　課　　長　　名取　雄太　様
（一社）日本環境測定分析協会　　副　会　長　　是澤　裕二　様

No.		会　社　名	出　席　者　名	備考
1	1	いであ(株)		
2	2	(株)エオネックス		
3	5	(株)環境管理センター		
4	6	(株)環境技術研究所		
5	8	(株)環境総合リサーチ		
6	10	環境リサーチ(株)		
7	11	シグマジオテック(株)		
8	12	新日本環境調査(株)		
9	13	(株)総合環境分析 東京技術センター		
10	14	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
11	15	(一財)東海技術センター		
12	16	(株)日新環境調査センター		
13	18	日本エコテック(株)		
14	19	日本環境分析センター(株)		
15	20	(株)日本シーシーエル		
16	21	(株)日本総合科学		
17	22	日本物理探鑛(株)		
18	25	ヒロエンジニアリング(株)		
19	27	(一財)広島県環境保健協会		
20	28	(株)分析センター		
21	30	ムラタ計測器サービス(株)		
22	32	ユーロフィン日本環境(株)		
23	35	(株)片山化学工業研究所		
24	36	高圧ガス工業(株)		
25	37	日本コントロールシステム(株)		
26	40	ビーエルテック(株)		

来　賓　　3名
正会員 26社　　40名
計　　26社　　43名

２０２６年度 新任者教育セミナー報告

『新任者教育セミナー』は、環境計量証明事業の会員事業所において新入社員や新任の配属者等を対象に、環境計量の基本的な事項やキャリア形成、情報交換の交流といったことを目的として開催されています。毎年首都圏環協連（東環協、埼環協、神環協、千環協）が合同で、(一社)日本環境測定分析協会（以下「日環協」）との共催により開催しています。今回は、1 都 3 県で 59 名の参加があり、東環協からは 5 社 13 名と多くの方にご参加いただきました。

開催日時　：　2026 年 6 月 2 日（火）13：30～19：00
会場　　：　かながわ労働プラザ　多目的ホールＡ
参加費　　：　３，０００円（研修資料代・交流会費用を含む。）

スケジュール

・13：00～13：25　受付
・13：30～13：35　開会挨拶
・13：35～13：45　アイスブレーク
・13：45～14：45　講義
　講義１「環境計量証明事業とは」　　神環協技術部会　菅原氏
　講義 2「資格取得のすすめ」　　神環協技術部会　山崎氏
　講義 3「労働安全の重要性」　　神環協技術部会　圷　氏
　講義 4「環境問題（トピックス）」　　神環協技術部会　向後氏
・14：45～14：55　休憩
・14：55～15：20　パネルディスカッションＡ「危険予知トレーニング」
・14：20～15：45　パネルディスカッションＢ「見習いたい行動」
・14：45～16：05　グループ発表
・16：05～16：15　休憩
・16：15～17：00　パネルディスカッションＣ「キャリア逆算プラン」
・17：00～17：10　修了証授与、閉会挨拶
・17：30～19：00　交流会、名刺交換会

【セミナーの様子】

当日は４件の講義の後、パネルディスカッション３件とグループ発表を実施しました。

講義ではそれぞれ新任者向けに業務に即した内容で分かりやすく解説が行われました。パネルディスカッションでは８つのグループに分かれてそれぞれのグループにファシリテータが付く形で参加者同士がテーマに沿った形でディスカッションが行われました。どのグループも活発なディスカッションが行われ大変有意義な研修となりました。

交流会、名刺交換会では皆さん活発に名刺交換や情報交換など交流を行い業界内での横のつながりも深まったのではないでしょうか。



増田神環協会長の開会挨拶



講義の様子



グループディスカッションの様子



グループ発表の様子



交流会の様子

2026 年度首都圏環協連 新任者教育セミナー　アンケート集計結果

1. 回答者の属性

1-1. ご所属の立場

回答	件数	割合
主催幹事団体	16	66.7%
共同開催団体	8	33.3%

1-2. 今回の主な関わり方

回答	件数	割合
主催幹事団体の部会員	10	41.7%
共同開催団体の関係者	7	29.2%
主催幹事団体の理事・役員	5	20.8%
見学	1	4.2%
当日運営担当	1	4.2%

2. セミナー全体の評価

2-1. セミナー全体の出来

「よかった」「概ねよかった」の合計：91.7%

回答	件数	割合
よかった	10	41.7%
概ねよかった	12	50.0%
やや課題があった	2	8.3%

2-2. 目的に合った内容だったか

「合っていた」「概ね合っていた」の合計：95.8%

回答	件数	割合
合っていた	13	54.2%
概ね合っていた	10	41.7%
どちらともいえない	1	4.2%

2-3. 参加者にとって有意義な内容だったか

「そう思う」「ややそう思う」の合計：91.7%

回答	件数	割合
そう思う	17	70.8%
ややそう思う	5	20.8%
どちらともいえない	1	4.2%
そう思わない	1	4.2%

3. プログラム内容について

3-1. 講義内容は新任者にとって適切だったか

※「見ていない・参加していない」2件を除く22件を母数として集計

回答	件数	割合
適切だった	16	72.7%
概ね適切だった	6	27.3%
見ていない・参加していない（除外）	2	—%

3-2. グループディスカッションの内容は新任者にとって有意義だったか

全員（100%）が有意義と評価

回答	件数	割合
有意義だった	18	75.0%
概ね有意義だった	6	25.0%

3-3. セミナー全体の時間配分

回答	件数	割合
ちょうどよかった	17	70.8%
やや短かった	4	16.7%
やや長かった	2	8.3%
短すぎた	1	4.2%

3-4. 新任者同士・団体間の交流につながる内容だったか

「そう思う」「ややそう思う」の合計：95.8%

回答	件数	割合
そう思う	19	79.2%
ややそう思う	4	16.7%
どちらともいえない	1	4.2%

4. 運営・会場について

4-1. 当日の進行は円滑だったか

「円滑だった」「概ね円滑だった」の合計：95.8%

回答	件数	割合
円滑だった	12	50.0%
概ね円滑だった	11	45.8%
どちらともいえない	1	4.2%

4-2. 受付・案内・誘導は分かりやすかったか

回答	件数	割合
分かりやすかった	11	45.8%
概ね分かりやすかった	11	45.8%
やや分かりにくかった	2	8.3%

4-3. 会場の広さ・配置・設備は適切だったか

「あまり適切ではなかった」が20.8%：会場選定の見直しを要検討

回答	件数	割合
適切だった	10	41.7%
概ね適切だった	8	33.3%
あまり適切ではなかった	5	20.8%
どちらともいえない	1	4.2%

4-4. 修了証の手渡し・閉会時の流れは円滑だったか

回答	件数	割合
円滑だった	9	37.5%
概ね円滑だった	12	50.0%
あまり円滑ではなかった	3	12.5%

5. 名刺交換会について

5-1. 参加者・関係者の交流につながったか

全員（100%）が交流につながったと評価

回答	件数	割合
そう思う	18	75.0%
ややそう思う	6	25.0%

5-2. 名刺交換会の時間

「やや長かった」が29.2%：時間短縮を検討する余地あり

回答	件数	割合
ちょうどよかった	17	70.8%
やや長かった	7	29.2%

5-3. 名刺交換会の雰囲気

「参加しやすかった」「概ね参加しやすかった」の合計：87.5%

回答	件数	割合
参加しやすかった	12	50.0%
概ね参加しやすかった	9	37.5%
どちらともいえない	2	8.3%
やや参加しにくかった	1	4.2%

6. ご意見・ご感想（自由記述）

有効コメント：5件

とても良かったです
全体的には内容、運営とも良かったと思います。ただ、セミナーの会場が参加者に対してやや狭かったように思います。
講義の後にアイスブレイクでも良かったかもしれません
人数に対してやや会場が狭かったかもしれません。
運営するにあたりご苦労が多々あったと思いますが大変有意義だと感じました。ありがとうございました。

まとめと所見

関係者 24 名の視点から見ても、今回のセミナーは全般的に高い評価を得ました。

【成果】

✓ セミナー全体の出来について「よかった」「概ねよかった」の合計が 91.7%と高評価でした。

✓ 目的適合性は「合っていた」「概ね合っていた」の合計が 95.8%で、セミナーの方向性が認められました。

✓ GD の有意義さは全員（100%）が「有意義だった」「概ね有意義だった」と回答しました。

✓ 名刺交換会は全員（100%）が交流につながったと評価し、関係者からも交流効果が認められました。

【今後の改善点】

△ 会場の広さ・配置について「あまり適切ではなかった」が 5 件（20.8%）あり、参加者アンケートと合わせて会場選定の見直しが必要です。

△ 修了証手渡し・閉会時の流れについて「あまり円滑ではなかった」が 3 件（12.5%）あり、式次第の改善余地があります。

△ 受付・案内について「やや分かりにくかった」が 2 件（8.3%）あり、誘導方法の改善を検討する価値があります。

△ 名刺交換会の時間について「やや長かった」が 7 件（29.2%）あり、時間短縮を検討する余地があります。

第 37 回 環境測定技術事例発表会報告

「第 37 回　環境測定技術事例発表会」は 9 月 16 日に対面形式で開催いたしました。

当日はあいにくの天候でしたが、発表者 5 名の他、会員 21 社 35 名、協賛企業 8 社 15 名、来賓 3 名を含め総勢 58 名の皆様に出席いただきました。来賓には、(一社) 日本環境測定分析協会 会長 小野寺　明　様、大阪環境測定分析事業者協会　会長　藤原　幹大　様、同協会　技術委員長 佐才　秀平　様の計 3 名にご臨席いただきました。

東環協　近野会長の挨拶



皆さま、本日はお足元の悪い中、お集まりいただき有難うございます。また、(一社) 日本環境測定分析協会の小野寺会長、大阪環境測定分析事業者協会の藤原会長、佐才技術委員長におかれましては、ご多忙のところ足をお運び頂き、感謝申し上げます。

今回は５名の方にご発表を頂けることを心から感謝いたします。

自分の話で恐縮ですが、今から３０年程前、他の業界から転職し、入社したての頃に、この環境測定技術事例発表会に参加させて頂いたことが、東環協の活動を知る機会になりました。当時このような形で、会社の垣根を超えた親密な横の繋がりがあることに深い感銘を受けたことを覚えています。この大らかさ、懐の広さこそが、この業界の大きな魅力の一つであると私は今も感じています。

会場の皆さまにおかれましては、発表される方々に温かい質問をして頂き、同時にこの機会を利用して様々な意見交換をして頂ければと思います。

また、本日、展示協賛を頂きました８社の皆さまには、日頃から東環協の活動にご協力を頂き、心から感謝を申し上げます。会場の皆さまには、休憩時間等を利用して各ブースにお立ち寄りいただき、様々な製品情報に触れ、ビジネスに活用して頂ければ幸いです。

なお、東環協は来年５月２１日に５０周年記念式典を予定しています。５０年というのは一つの大きな節目であり、自社を振り返ってみても、様々な外部環境や内部環境の急激な変化にさらされている実状があります。そのような中でも守り続けるべきものがあります。「モノを正しく測る」ことは、わたしたちの業界にとっての基礎技術であるとともに、誇り、アイデンティティであるといっても過言ではないでしょう。それとともに、業界の横の繋がりというこの業界の魅力は今後もしっかりと次の世代に引き継いでいきたいと思います。事業の付加価値を高めるという面でも、今日お集まり頂きました皆さまどうし、協力し合えることは沢山あると思います。今日一日、大いに語り合えればと思います。どうぞよろしくお願いします。





展示ブース見学



発表の様子

【事例発表・第１部　事例発表①～③】
以下、発表申込書に記載の要旨を引用させていただきました。

①　「飲料中の超短鎖 PFAS トリフルオロ酢酸の濃度実態および PFOA 換算濃度による評価」

株式会社環境管理センター
〇佐々木 舞子氏、川中 洋平氏、上條 憂紀氏



超短鎖 PFAS であるトリフルオロ酢酸（TFA）は、高い移動性および環境残留性を有し、近年、環境中における濃度上昇が報告されている。一方で、TFA の規制上の位置づけについては、現在も国際的に議論が進められている段階にある。海外では、飲料中における TFA の高濃度検出が報告されており、いくつかの国では飲料水を対象に TFA の指針値等が設定されている。しかしながら、国内における飲料中 TFA の濃度実態に関する報告は極めて限られている。また、PFAS の評価においては、物質ごとの毒性の違いを考慮した相対効力係数（Relative Potency Factor: RPF）を用いた手法が提案されている。そこで本研究では、国内で市販されている飲料を対象に TFA 濃度を測定し、その濃度実態を明らかにするとともに、海外で提案・設定されている指針値との比較、ならびに RPF を用いた評価を行った。

②　「構造物等における環境因子と異物調査事例」

株式会社分析センター　　舟田 南海氏



各種の建築物やプラント設備などにおいて、素材表面の変色や飛来異物の付着、あるいは堆積析出物（結晶状物質）などが認められることがある。これらの異常は外観上の問題にとどまらず、建築物の強度や設備の機能低下、素材の劣化といった維持管理上の問題などに繋がる。そのため、発生した付着物や析出物の種別や組成を種々の分析手法で把握し、発生原因を詳細に解析することは、適切な洗浄方法や補修・予防対策を選定する上で重要である。

本報では、建築物や構造物、配管設備等に発生した特徴的な付着物や析出物について、各種分析を行った結果、環境要因による異物の発生や堆積現象と判明した３つの調査事例を取り上げる。各事例について、分析手法、分析結果を示し、異物分析による物質の特定と対策検討への活用について報告する。

③　「水質中の PFAS４４物質の分析」

いであ株式会社　環境創造研究所
○山本 潤氏、山口 夏純氏、羽山 真介氏、水谷 太氏



近年、生物蓄積性や毒性の懸念のある物質として注目を浴びている有機フッ素化合物（PFAS）であるが、国内で主にモニタリングされている物質はペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS)、ペルフルオロオクタン酸（PFOA）など数種類である。

PFAS はその利便性などから製造される関連物質は増え続けており、LC-Orbitrap や TOF-MS を用いた網羅分析、燃焼イオンクロマトグラフィーを用いた総フッ素の評価など様々な取り組みがなされているところであるが、化合物ごとの影響についても、さらに議論を進めていく必要があると考えられることから、国内で基準などが定められている化合物以外にも着目し、水質中の PFAS44 物質の分析法について検討し、環境水試料を用いて検証を行った。

【協賛企業によるプレゼンテーション　その 1】

事例発表第 1 部の最後は、協賛企業 4 社によるプレゼンテーションがありました。

ジーエルサイエンス株式会社様からは、PFAS 分析の前処理装置の案内について、輝達商事株式会社様からは、中古分析機器の買い取りと販売について、ビーエルテック株式会社様からは、流れ分装置について、株式会社アイデック様からは、SKC 社のポンプ、特殊な吸着管及び消耗品などについて、それぞれご紹介いただきました。



ジーエルサイエンス株式会社様



輝達商事株式会社様



ビーエルテック株式会社様



株式会社アイデック様

ブース見学/休憩



ジーエルサイエンス株式会社様



輝達商事株式会社様



ビーエルテック株式会社様



株式会社アイデック様



日本コントロールシステム株式会社様



セナーアンドバーンズ株式会社様



メルク株式会社様



日東精工アナリテック株式会社株

【事例発表・第２部　事例発表④～⑤】
以下、発表申込書に記載の要旨を引用させていただきました。

④　「カドミウムを使用しない窒素成分分析法の開発」」

ビーエルテック株式会社　　高橋のどか氏



窒素成分は、生体の成長等に必要な物質である一方で、環境汚染等の観点から世界的に排出削減が求められており、監視・管理が必要とされている。海水や環境水に含まれる窒素成分は、JIS や告示法によって様々に測定法が定められている。中でも、海水や汽水等、夾雑物質が多量に含まれる試料中の全窒素や硝酸態窒素の測定には、銅ーカドミウム還元法を用いることが主流となっている。しかし、カドミウムは有害物質として規制されており、測定者や環境への暴露の観点からも、その使用および排出は最低限に抑える必要がある。

筆者らはこれまで、カドミウムの代替部材として、亜鉛を用いた窒素成分分析法を開発してきた 1,2)。亜鉛はカドミウムと同族元素であり、カドミウムと同様に銅による被覆を行うことで、窒素成分を還元することができる。カドミウムを用いる場合は、硝酸態窒素が亜硝酸態窒素に還元されるが、亜鉛を用いる場合には、硝酸態窒素および亜硝酸態窒素がアンモニア態窒素まで還元されるため、測定方法としては、アンモニア態窒素を対象とするインドフェノール青法を用いた。また、通常インドフェノール青法に使用されるフェノールには有害性があることから、本法ではサリチル酸ナトリウムを代替物質として採用した。この際、ベースラインの安定化や夾雑物質による影響の低減を図るため、フロー中にガス透過機構を導入した。確立した方法は、従来法との比較や、外部機関での測定を行うことで妥当性評価を行い、現在は規格化に向けた検討を進めている。本発表では、本法の概要、妥当性評価の結果を報告するとともに、更なる環境・人体への負荷低減のために現在取り組んでいる試薬の変更や装置小型化等の検討についても報告を行う。

⑤　「日々変わる調査現場に対応した熱中症対策について」

環境リサーチ株式会社　安全・品質保証部
村野　光男氏



近年の夏季の高温化に伴い、調査現場における熱中症対策は重要な課題となっている。当社の調査業務は固定現場ではなく、場所や時間が日々変化する都度現場が多いため、休憩場所や空調設備の確保、管理者による対面での体調確認が困難な場合がある。そこで、変化する現場環境に対応した熱中症対策を構築した。

熱中症発生時の対応フローを整備するとともに、暑くなる前の事前教育、個人用・車載用の熱中症対策用品の配備、Forms と RPA を活用した作業前チェックシートを導入した。チェックシートでは、作業前の体調、作業内容、作業場所の暑さ指数（WBGT）および対策

用品の準備状況を確認した。また、熱中症リスクが高いと判断された案件については、管理者が作業前に直接連絡し注意喚起を行った。

固定現場を前提とせず、現場ごとのリスクを作業前に確認し、教育、備品、緊急時の対応フロー、デジタルツールによる体調確認を組み合わせることで、都度変化する調査現場に対応した熱中症対策の仕組みを構築した。今後も現場条件に応じたリスク評価と対策の改善を継続する。

【協賛企業によるプレゼンテーション　その 2】

事例発表・第 2 部のあとは、引き続いて協賛企業 4 社によるプレゼンテーションがありました。日本コントロールシステム株式会社様からは、会社案内及び現場写真自動リンク管理システムについて、セナーアンドバーンズ株式会社様からは、高感度分析用純水装置について、メルク株式会社様からは、超純水製造装置について、日東精工アナリテック株式会社様からは、小型蒸留装置及び自動試料燃焼装置 について、それぞれご紹介いただきました。



日本コントロールシステム株式会社様



セナーアンドバーンズ株式会社様



メルク株式会社様



日東精工アナリテック株式会社様

【懇親会】

事例発表会のあとは、アルカディア市ヶ谷６階「伊吹（全）」にて恒例の懇親会が、東環協　小柳監事の司会進行により 17:15 にスタートしました。東環協の近野会長から主催者挨拶があり、(一社) 日本環境測定分析協会の小野寺会長より来賓挨拶をいただきました。

大阪環境測定分析事業者協会の藤原会長による乾杯のご発声をいただき懇親会が始まりました。



東環協　近野会長による主催者挨拶



日環協　小野寺会長による来賓挨拶



大環協　藤原会長による乾杯のご発声

発表会の緊張感から開放され、和やかな雰囲気の中、名刺交換や発表者・展示協賛企業への質問などが活発になされ、参加者間の交流が行われていました。通常の業務では同業他社の技術者と交流する機会がなかなかないこともあり、参加者間の交流は大変有意義なものであったようです。

会場の皆さんのお腹も満たされ、お酒の酔いも程よく回ってきたところで、本日の発表者への記念品の贈呈が行われました。司会者からの指名で一人ひとり壇上に上がっていただき、近野会長から記念品が渡され、会場から盛大な拍手が送られました。

さらに、展示協賛企業の皆様にも壇上に上がっていただき、本日の事例発表会の感想や、製品紹介をご披露いただきました。



記念品の贈呈



発表者の皆様



展示協賛企業の皆様



会場風景

懇親会は大いに盛り上がり、和やかな雰囲気の中で楽しい時間が過ぎていきました。最後は、東環協 石山監事による一本締めをもって、盛況のうちにお開きとなりました。

発表者の皆様におかれましては、貴重で素晴らしい事例をご発表いただき、誠にありがとうございました。

今回の事例発表会が、皆様にとって有意義な情報交換の場となれば幸いでございます。来年度の事例発表会におきましても、より多くの皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。



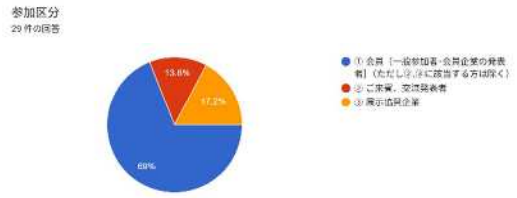
東環協　石山監事による中締め

【アンケート集計結果】

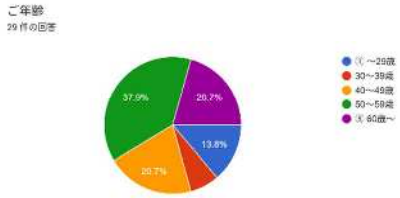
参加者の皆様に事例発表会後のアンケートにご協力いただきました。

その一部をご紹介します。他にも貴重なご意見・ご感想を寄せていただきましたので、このアンケートの結果は今後の事例発表会運営の参考にいたします。有難うございました。

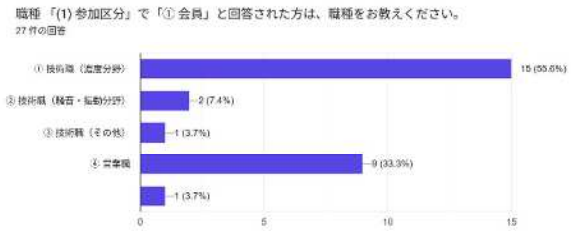
参加区分



年齢層



職種【正会員限定】



【参加者からの感想（抜粋）】

超短鎖 PFAS への取り組みをはじめているため興味を持って聞かせていただきました(事例発表①)
構造物等における異物調査は公定分析方法のようなものがないと思われるため、非常に参考になりました。（事例発表②）
とても参考になりました。もっと詳しく聞きたかったです。(事例発表③)
環境や作業者に配慮し、有害物質を使用しない方法の開発は重要であると感じた(事例発表④)
対策内容が大変参考になりました。(事例発表⑤)
業務において、機器の整備等は必要不可欠なので、製品紹介は毎年実施していただきたい。今使用している機器の代替案などが話すことができてとても良かった。
後日でも良いので発表者のスライドなどの資料を電子データで提供して頂きたい。

大環協環境測定技術事例発表会　交流講演

9 月 30 日（水）に大阪環境測定分析事業者協会主催の第 42 回環境測定技術事例発表会が大阪産業創造館で開催され、東環協からの交流講演として、一般財団法人広島県環境保全協会　野田 憲弘氏による「一般廃棄物最終処分場の廃止に係る事前調査の事例」という演題での発表が行われました。また、当日の発表プログラムは、下記のとおりでした。



発表の様子
一般財団法人広島県環境保全協会
野田 憲弘氏

【特別講演】

「森から川そして海まで　流域全体での研究活動」
吉備国際大学農学部　教授　　布川　雅典

【事例発表】

第 1 部

「カドミウムを使用しない窒素成分分析法の開発」
ビーエルテック株式会社　　高橋　のどか

「水試料における PFAS 迅速分析法について」
三浦工業株式会社　　上田　祐子

「高純度ガス等における不純物分析について」（一般社団法人兵庫県計量協会　交流講演）
日鉄テクノロジー株式会社　　梅原　淳哉

「一般廃棄物最終処分場の廃止に係る事前調査の事例」（東京都環境計量協議会　交流講演）
一般財団法人広島県環境保全協会　　野田　憲弘
田中　日出夫

第 2 部

「福島県相馬市松川浦における環境水の 137Cs 測定事例― 季節的変動と供給源の推定 ―」
株式会社ＫＡＮＳＯテクノス　　新井田　拓也

「環境計量士に関するアンケート調査結果報告
（環境計量証明事業所を対象としたアンケート調査）」
龍谷大学　　桧尾　亮一

「AI を用いた航空機騒音識別」
リオン株式会社　　廻田　恵司

「令和 7 年度　大環協共同実験結果報告」
帝人エコ・サイエンス株式会社　　前田 隆洋
（大阪環境測定分析事業者協会　共同実験実行委員会）

2026 年度 役員の役割分担

2025 年度より従来の行事ごとの役割分担を変更し、全体統括として会長と副会長を据え、実務は業務、技術、広報の 3 つの委員会に役割を割振り、各々の役員、委員はいずれかの委員会に所属し事業を推進していくこととなっております。。

2026 年度の各委員会の役割及び委員の一覧は下記のとおりです。新任理事は名前の後ろに（新）と記載してあります。

何とぞ宜しくお願いいたします。

○全体統括

・役割

東環協の実施する事業全体を統括

・担当役員

近野会長、村野副会長

○業務委員会

・役割

東環協の基幹業務及び対外的な交流、折衝を担当する

・担当行事

総会・役員会、首都圏環協連・災害協定他外部団体交流、新年賀詞交歓会

・担当役員

木村理事、大杉理事、笹嶋理事、松井理事（新）

○技術委員会

・役割

東環協における技術に関する業務を担当する

・担当行事

事例発表会、大環協事例発表会（交流講演）、技術研修会、教育研修事業、精度管理事業

・担当役員

野田理事、関島理事（新）、土田理事（新）、石山監事

○広報委員会

・役割

東環協の広報に関する業務を担当する

・担当行事

東環協ニュース、ＨＰ情報更新、都民計量のひろば、50 周年を見据えての準備

・担当役員

藤田理事、小柳監事

新役員挨拶

2026 年度の総会において、3 名の新役員が承認されました。新たな役員は以下のとおりです。

・理事：土田　政行　日本物理探鑛(株)
・理事：松井　円　　日本環境分析センター(株)
・理事：関島　章光　(株)環境管理センター

新しく役員になられました方々に今後の抱負を含めてご挨拶をいただきました。



土田　政行　理事　【日本物理探鑛(株)】

通常総会におきまして、新たに理事に選任されました日本物理探鑛株式会社の土田でございます。

これまでに技術研修会、研修見学会などに参加させて頂き、大変ありがたく感じておりました。今回、役員の方が不足していると伺い、お世話になってきました恩返しができればと思い立候補させていただきました。

微力でございますが、環境計量業界に貢献できるよう、精一杯努めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



松井　円 理事　【日本環境分析センター(株)】

第 49 回通常総会で新たに理事に選任されました日本環境分析センター株式会社の松井円でございます。

理事として不慣れな点も多々ございますが、自身の役割において何が求められているのか、何ができるのかを常に模索し続け、東京都環境計量協議会の会員の皆様のお役に立てるよう、精一杯務めさせていただきます。

ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



関島　章光 理事【(株)環境管理センター】

第 49 回通常総会において新たに理事に選任されました、株式会社環境管理センターの関島でございます。

一昨年の途中から技術委員として活動してまいりましたが、このたび理事を務めることとなりました。物価や人件費など、さまざまなコストが上昇する中、業務に見合った適正な価格のあり方を考え、環境計量業界の価値向上に取り組んでまいりたいと存じます。また、東京都環境計量協会の発展に努め、役員・会員ならびに関係者の皆様のお役に立てるよう、力を尽くしてまいります。

ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

関係機関・団体の動き

2026年10月現在、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです［東環協ニュース第188号以降分］。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

・首都圏合同・新任者教育セミナー		6月 2日	かながわ労働プラザ
・2026年度第1回委員会		6月 4日	かながわ労働プラザ
・2026年度第2回委員会		9月 3日	かながわ労働プラザ
・2026年親睦ゴルフ大会		10月16日	房総カントリークラブ
・県単合同研修会		12月 3日	未定
・2026年度第3回委員会	2027年	2月 5日	未定

○ (一社)神奈川県環境計量協議会

・2026年度通常総会		5月22日	かながわ労働プラザ
・創立50周年記念式典		5月22日	ロイヤルホールヨコハマ
・分析技術ミーティング		7月29日	金沢産業振興センター
・親睦地引網大会		10月24日	鵠沼海岸
・事例発表会	2027年	1月28日	未定

○ 千葉県環境計量協会

・2026年度通常総会		5月 8日	ホテルポートプラザちば
・創立50周年記念式典		10月30日	ラ・セーヌブランシェ
・技術発表会＋技術者フォーラム		11月20日	未定
・新春講演会	2027年	1月22日	プラザ菜の花

○ (一社)埼玉県環境計量協議会

・2026年度通常総会		5月27日	産業振興会館
・創立50周年記念式典		7月24日	THE MARK GRAND HOTEL
・県民計量のひろば		11月 1日	大宮西口共同ビル1階フロア―
・技術研修会		11月 6日	大宮ソニックシティ会議室
・新春講演会・研究発表会	2027年	1月29日	大宮ソニックシティ会議室

○ (一社)日本環境測定分析協会

・2026年度通常社員総会		5月26日	タワーホール船堀
・環境セミナー全国大会		10月22日	
		～23日	HOTELグランデはがくれ
・経営セミナー		11月27日	ベルクラシック甲府

東環協からのお知らせ

○ 2026 年度 主要行事

・2026 年度通常総会	5 月 18 日	アルカディア市ヶ谷
・環境測定技術事例発表会	9 月 16 日	アルカディア市ヶ谷
・大環協環境測定技術事例発表会　交流講演	9 月 30 日	大阪産業創造館
・都民計量のひろば	11 月　1 日	新宿駅西口広場
・災害時アスベストばく露・飛散防止研修会	11 月　9 日	都庁 及び Web 配信
・技術研修会、賀詞交歓会	2027 年　1 月 18 日	アルカディア市ヶ谷

○ 事務局からのお知らせ

・現在の会員数（2026 年 9 月 30 日現在）

正会員　　78 社

○ 編集後記

「東環協ニュース(第 189 号)」が完成しましたので皆様にお届けいたします。本号は 5 月に行われました通常総会及び本年度の役員体制、その他 9 月までに実施された研修会等を中心に記事を掲載しました。通常総会にて従来の正会員、賛助会員の区分を廃止し、すべての会員を正会員とすることが決議されました。また新たに会長、副会長が選任され、東環協は新体制となりました。今後もより一層皆様に興味を持っていただける企画・運営を心掛けて参ります。

東環協は来年、創立 50 周年を迎えます。5 月には創立 50 周年記念式典を開催します。これからも皆様にお役に立てる組織として邁進する所存でございます。今後とも会員の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、来年 1 月には技術研修会、賀詞交歓会の開催が予定されています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

全自動固相抽出装置

アクアトレース AE9500



アクアトレースは、これらの工程を
すべて自動化することができます。

コンディショニング → 試料通水 → 洗浄 → 脱水・乾燥 → 溶出 → 濃縮

PFAS 分析用固相カラム

InertSep WAX FF

逆相＋弱アニオン交換カラム



InertSep MA-2

弱アニオン交換カラム



GL Sciences

中古分析機器 買取ネットワーク

処分にお困りの分析機器

高価買取

クロマト分析装置
Chromatographic analyzer

光分析装置
Spectrometer analyzer

電子顕微鏡
Electronic microscope

バイオ関連分析装置
Bio related analyzer

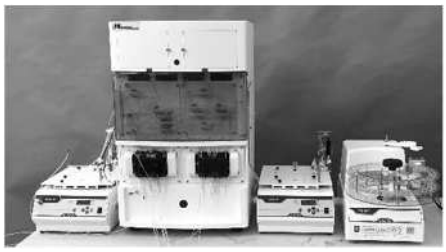
輝達商事株式会社
TERUTATSU SHOUJI CORPORATION

東京本社　〒113-0034 東京都文京区湯島2-6-2 SORAお茶の水マンション 1F　TEL:03-5944-9968
URL:https://www.terutatsu.co.jp

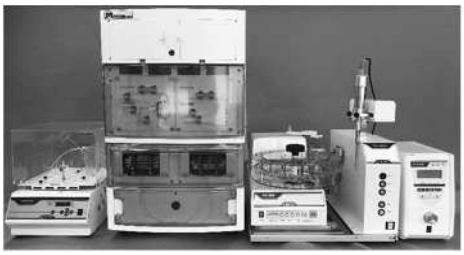
ビーエルテックの自動化学分析装置

新型オートアナライザー 「*MiSSion*」
ふっ素　シアン　フェノール類　全窒素　全りん

1　新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
2　原理は、気泡分節型連続流れ分析法（**CFA**）で計量証明機関で多くの実績があります。
3　**ふっ素、シアン、フェノール類**の蒸留、発色操作も自動で行えます。
4　**全窒素全りん**のオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
5　自動洗浄装置装着時、**オートスタート機能**、自動プラテンリリースできます。
6　国内生産です。
7　JIS K 0102、環境省告示対応メソッドです。　1時間20検体測定ができます。



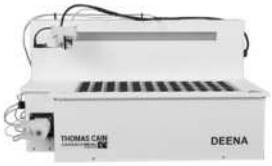
MiSSion-ふっ素シアン



MiSSion-全窒素全りん

全自動酸化分解前処理装置
DEENAシリーズ

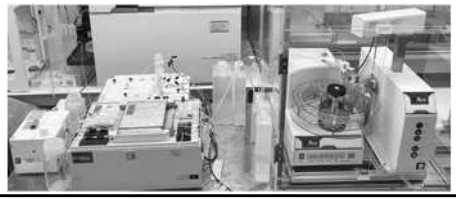
特長
1．試薬を自動で導入できます。
2．自動で加熱をします。
3．内部標準も入れられます（オプション）
4．メスアップも自動で行います。



DEENA60
（50mlバイアル　60本掛け）

連続流れ分析法（CFA法）を用いた、酸添加加熱分解装置AATM（アトム）

特長
1．液体サンプルは、酸と混合、加熱しICP-MSへそのまま導入され測定されます。
2．気泡分節のCFA法を利用した装置です。
3．土壌汚染関連、排水、飲料水など全自動で
　測定できます。
4．告示第261号において、このAATMを用いた水銀を含む
金属一斉分析が公定法となりました。



ビーエルテック株式会社　http://www.bl-tec.co.jp
本　社　　〒550-0002　大阪市西区江戸堀1-25-7　江戸堀ヤタニビル２F
　　TEL：06-6445-2332　FAX：06-6445-2437
東京本社　　〒103-0011　東京都中央区日本橋大伝馬町14-15　マツモトビル4F
　　TEL:03-5847-0252　FAX：03-5847-0255
九州支店　　〒812-0013　福岡市博多区博多駅東3－1－29　博多第2ムカヰビル403
　　TEL:092-452-0108　※FAXは本社へ

米国 SKC 日本総代理店

SKC

こちらもご相談ください

IDC
株式会社 アイデック

☑ 個人ばく露測定
☑ リスクアセスメントの確認測定



IDCホームページ

https//www.ihdc.co.jp

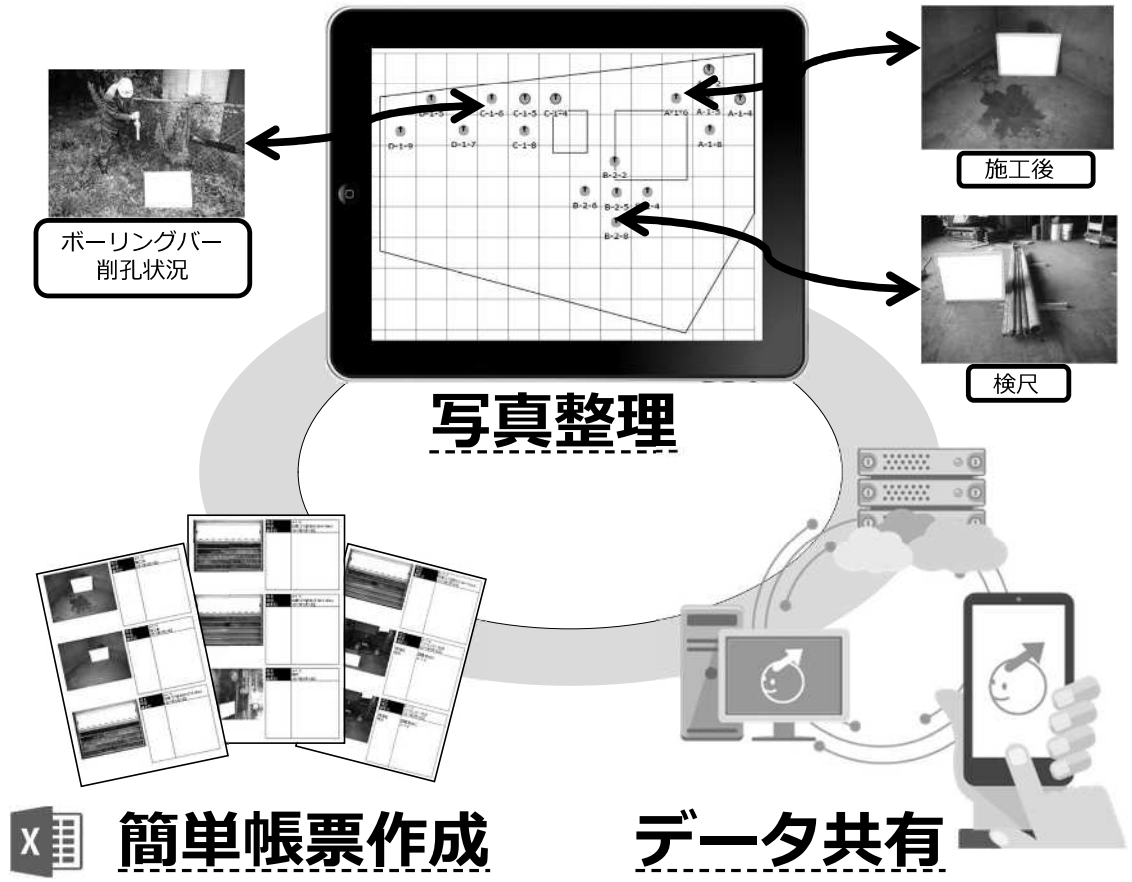
販売 はもちろん
レンタル も 中古機器販売買取 も
アイデック にお任せ!!

〒136-0071 東京都江東区亀戸1丁目28-6タニビル5階
TEL：03-6802-9226 / FAX：03-6802-9698

pictum

写真整理や帳票作成の手間を軽減！

製品の特長



タブレットを現場で活用すると…？？？

- ☑ 地歴調査の現地踏査写真整理業務、工数８０%削減！
- ☑ 土壌汚染状況調査の写真整理業務、工数５０%削減！
- ☑ 現場管理者が調査進捗状況をリアルタイムに確認可能！
- ☑ 作業員が試料採取済み箇所を瞬時に把握！



■採用実績(五十音順)
株式会社環境管理センター、帝人エコ・サイエンス株式会社、他

■製品のお問い合わせ
日本コントロールシステム㈱
http://www.nippon-control-system.co.jp/

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館5F
TEL ： 03-3443-5081（ピクタム担当）
MAIL ： pictum@nippon-control-system.co.jp

ELGA VEOLIA

PFAS分析に最適な超純水が装置から直接採水できます

- 今お使いの超純水装置では PFOSや PFOAが検出されてしまってブランク水に使えない
- PFOS/ PFOAフリー超純水を購入して使うのはコストがかかるし、面倒だ

…. こんなことでお困りの分析者の方へ

エルガ・ラボウォーターの PURELAB Chorus 1 Analytical Research なら そのまま使えます

GOOD DESIGN
ピュアラボディスペンサーが 2021年度 グッドデザイン賞 受賞!!



超純水中の PFOS、PFOA、PFHxSの分析例

	PURELAB Chorus 1水
PFOS	＜DL(0.02 ng/L)
PFOA	＜DL(0.02 ng/L)
PFHxS	＜DL(0.02 ng/L)

分析：株式会社アクアパルス（2022）

試験方法：
PFOS、PFOA；令和２年環水大水発第2005281号 / 環水大土発第2005282号 付表１固相抽出 LC-MS/MS 法
PFHxS ；令和２年環水大水発第 2005281号付表 1準用

エルガ超純水装置は採水口フィルターからのコンタミの心配がありません

より詳細な情報をご希望の方は下記までお問い合わせください。また、評価用サンプル水、デモ機のご依頼は輸入元セナーアンドバーンズ株式会社まで

製造元
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
エルガ・ラボウォーター事業部
〒108-0022 東京都港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
e-mail: jp.elga.all.groups@veolia.com
http:// www.elgalabwater.com

輸入元
S-VANS セナーアンドバーンズ株式会社
〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-6-6 第一綜合ビル
TEL: 03-5708-7300 FAX: 03-5708-0151 http://www.s-vans.com
札幌営業所 TEL: 011-823-2250 神戸営業所 TEL: 078-331-7292
北九州営業所 TEL: 093-533-5371

ELGAは Veolia Waterの実験室用水の国際ブランド名です。PURELABは ELGA IabWaterの商標および技術です。【禁無断転載･複写】

LWP025-2601-M

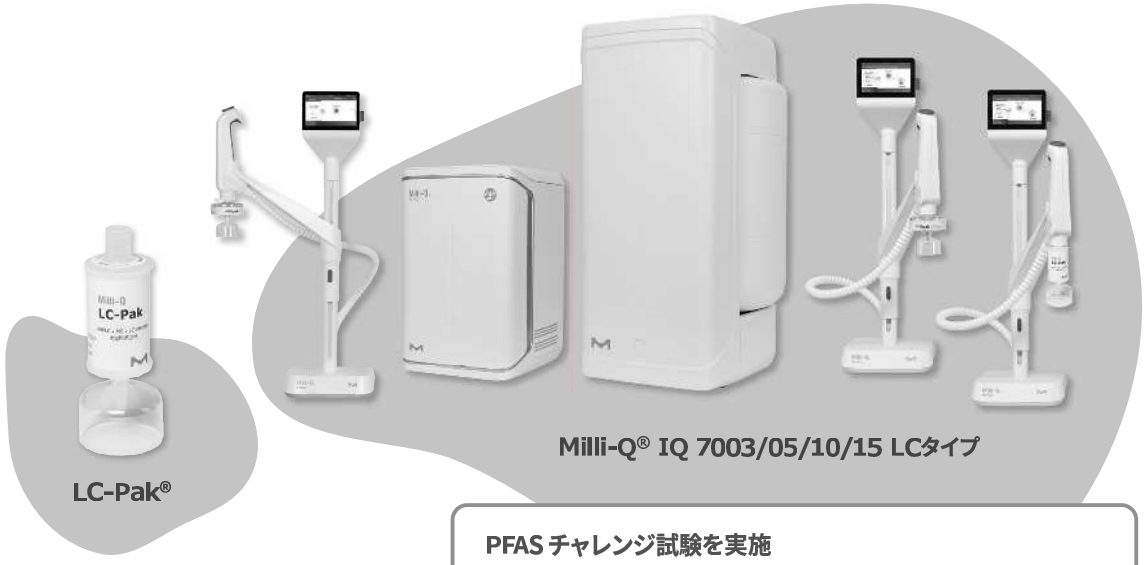
Milli-Q®
Lab Water Solutions

MERCK

PFAS分析に最適

超純水・純水製造装置
Milli-Q® IQ 7003/05/10/15 LCタイプ

EPAのドラフトメソッド1633を用いて、40種類のPFASが超純水中から検出されないことを確認済み



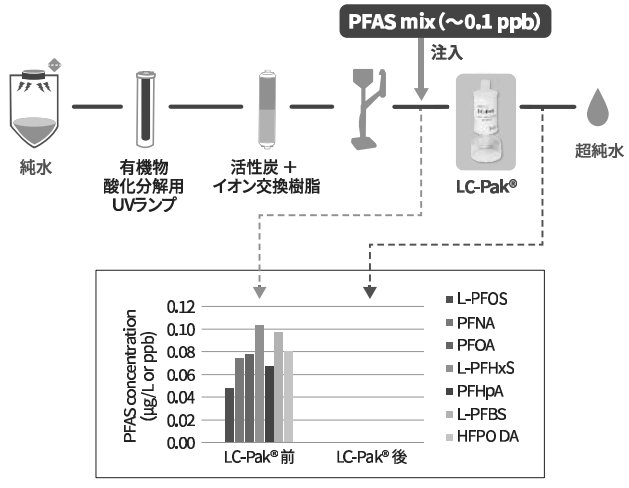
Milli-Q® IQ 7003/05/10/15 LCタイプ

LC-Pak®

LC-Pak®はLC/MS等でのPFASや微量の有機化合物を吸着除去します。

PFAS チャレンジ試験を実施

PFAS 7 種（0.1 ppb）をLC-Pak® の前に注入して精製後の濃度を確認



PFAS 関連製品の詳細はこちら
https://bit.ly/47L0CCO

The life science business of Merck operates as MilliporeSigma in the U.S. and Canada.

ふっ素・シアン・フェノール・アンモニア

小型蒸留装置DS-5100

■ JI2025 年4 月1 日より環境省告示へ適用
公共用水域水質環境基準、地下水環境基準、土壌環境基準及び排水基準等

■ 試薬と廃液量・蒸留時間が削減され、より効率的に多くの蒸留操作ができるようになりました。





燃焼イオンクロマトグラフ

自動試料燃焼装置AQF-5000H

■ イオンクロマトグラフの検量線溶液自動調製機能および吸収液自動希釈機能を新たに追加しました

■ PFAS・SAFのスクリーニング分析に最適

■ 吸収液を自動で分取しイオンクロマトグラフ以外の分析手法への応用も可能なオプションもご用意





日東精工アナリテック株式会社
TEL:046-278-0036 FAX:046-278-0037

ホームページ https://www.n-analytech.co.jp/

EPA Method1633A および ISO21675 44物質対応

ミウラのPFAS前処理ソリューション

ラピアナ®PFASカラム+ラピアナ®フィルタ

懸濁物質を含む環境水・排水でも高回収率・迅速な前処理を実現



試料(500 mL)
↓
ラピアナ®フィルタ
(懸濁物質除去)
＋
ラピアナ®PFASカラム
(PFAS保持)
↓
溶出(約1.4 mL)
↓
LC-MS/MS

ラピアナ®フィルタは既存の6 mL固相抽出カラムにも直接接続可能

●高流量通液
懸濁物質を含む試料でも詰まりにくく、前処理時間を短縮

●高回収率
中性PFASも回収率50%以上(当社評価)

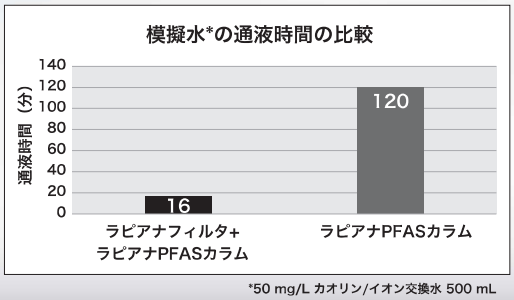
●前処理簡略化
超音波抽出不要

●濃縮操作不要
溶出液量約1.4 mL、LC-MS/MSへ直接導入可能

懸濁物質の多い試料にはラピアナ®フィルタをおすすめします

- 既存の6 mL固相抽出カラムに直接接続可能で、試料中の懸濁物質を効率的に除去
- 100 mg/Lまでの懸濁物質を含む試料に対応可能
- 超音波抽出不要
- ろ過時間の大幅な短縮を実現





*50 mg/L カオリン/イオン交換水 500 mL

熱・水・環境のベストパートナー
MIURA

グリーンテクノロジーを創成する
三浦工業株式会社
三浦環境科学研究所

お問い合わせ先
愛媛県松山市北条辻864番地1　〒799-2430
TEL 089-960-2350　FAX 089-960-2351
https://www.miuraz.co.jp/e_science

詳細はこちら

高圧ガス工業株式会社
KOATSU GAS KOGYO CO.,LTD.

高圧ガス工業の標準ガス

高圧ガス工業は環境測定のお手伝いに徹し貢献していきます
標準ガスは、様々な用途で使用されています。大気測定から煙筒、排気ガス、医療現場と幅広いユーザー様に支持を受けています

Standard Gas



◆ラインナップ
- JCSS標準ガス　1級、2級、零位
- 一般標準ガス
- 医療機器校正用標準ガス

◆容器 / 充填圧力
- 容器種類：3.4L　10L　47L マンガン容器
- 口　　金：W22×14山　右・左
- 充填圧力：14.7 MPa max
- 脱着キャップ、ハンドルバルブ

High Purity Gas

◆ラインナップ

・高純度アルゴン	UP1　99.9999 %	UP3　99.999 %
・高純度窒素	UP1　99.99995 %	UP3　99.9995 %
・高純度水素	UP1　99.99999 %	UP2　99.9999 %

◆容器 / 充填圧力
- 容器種類：3.4L　10L　47L マンガン容器
- 充填圧力：14.7 MPa max
- 口　　金：W22×14山　右・左
- 脱着キャップ、ハンドルバルブ

Pressure Regulator



◆特長
・理化学機器に特化した、高品位の圧力調整器で、ガスを安定した圧力と流量で供給できるよう設計されています

◆スペック
・HP-1　：　1段減圧　供給圧 0-0.9 MPa
・HP-2　：　2段減圧　供給圧 0-0.9 MPa
・Bs/ステンレス製

高圧ガス工業株式会社　ガス開発部　特殊ガス課　http://www.koatsugas.co.jp
東京事務所　東京都千代田区内幸町１丁目２番１号　日土地内幸町ビル９階　TEL 03-3595-3122
滋賀高圧ガス流通センター　滋賀県東近江市五個荘川並３６８番地　TEL 0748-48-5933